

小さな店の底力見て

「ジャズが流れる街」をテーマに町おこしを進める小田急線相模大野駅（相模原市南区）周辺の商店街で20日、食事をしながらライブが楽しめるイベントが催される。15日には駅前に複合商業施設「bono（ボノ）相模大野」がオープン。直後の祝日とあつて、多くのにぎわいが予想されるが、主催者は「小さな飲食店だって頑張っている。その心意気を示したい」と話している。（石橋 学）

入店パスを1500円

（前売りはワンドリンク付き）で購入し、駅周辺の17の飲食店でライブが楽しめる。1回まで店を「はじこ」することができ、レストランからカフェ、そば、すし、お好み焼き店と会場となる店も多彩だ。

イベントは昨年に続き3回目だが、今回は力の入れようが違う。

イベント5日前にオープンするボノの存在だ。「ボノのにぎわいに負けず、街全体が元気なところを見せたい」。実行委員会メンバーで、イタリア料理店フアゴットを営む塚本敏さん



相模大野駅
周辺商店街

20日にライブイベント

（43）は、そう意気込む。

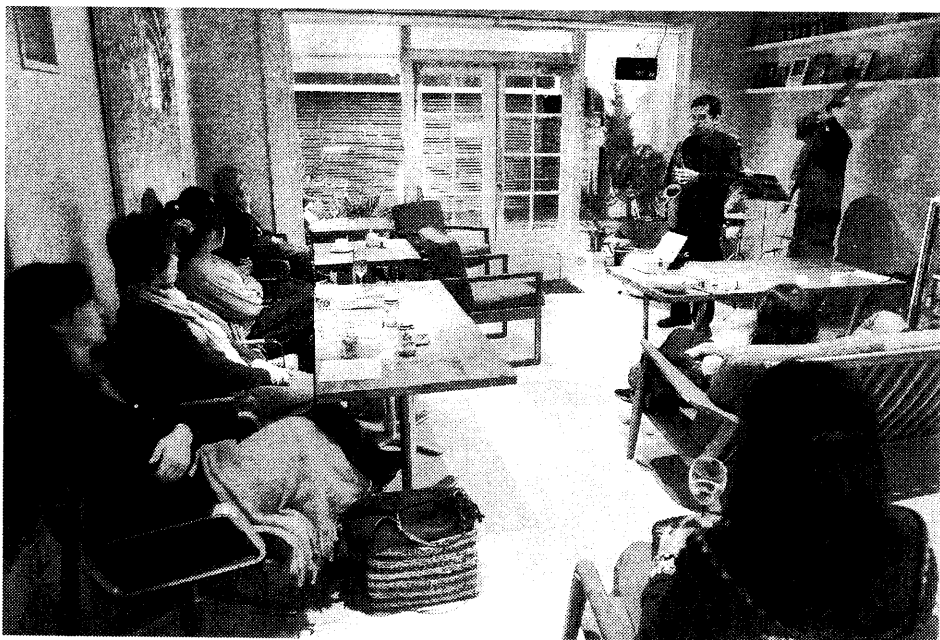
店を飛び出し、自ら呼び込み役になる。イベント開始の3時間前、塚本さんたち飲食店主でつくるジャズバンド「ホットシエフ」が駅前デッキで演奏を繰り広げる。手にする楽器はフライパン。ボノ目当てで来た買い物客の目を引こうという作戦だ。

ボノのオープンで初めて相模大野に来る人も増える。それは街の魅力をアピールするチャンスが増えることを意味する。塚本さんは「まだまだ試行錯誤だが、お客さんと一緒に『ジャズの街』を育てていきたい」と話している。

イベントの時間は2時間で、開始が店ごとに午後6時、同6時半に分かれる。

大型施設と共存 「街全体を元気に」

相模大野駅周辺商店街会連合 フアゴット ☎042（74）
会と大野JAZZ実行委員 ☎（8）0965。
会の主催。問い合わせは、



昨年のイベントでライブと食事を楽しむ参加者
相模原市南区